



な事
くて

はつうに
初雲丹いくら

初雲丹いくら

遡る事
一週間前

ふう…

また
今日も

誰も
こなかったわね…

から〜ん

私の名は
イーズ

今日も一日
整理するだけで
終わってしまったわ

国からこの村に
派遣されたばかりの
図書保管員だ

グニッ



この小さな村に
建てられたこの
綺麗な図書館――

でもどうやら
村人達は興味が
ないようで……
むしろ反感……

私が着任
してから

誰も本を
借りに
こない……!



はあ……
折角こんなに
本があるのに
勿体ない
なあ……



正直
辛い……!



村に
溶け込もうと
挨拶するも

あ……
おはよう……
あ……

何だこの
いけなな……
都会も
どう目

冷たい視線を
もらうだけ



暖かい話が
好きだった

特に主人公が
幸せになる

引っ込み思案で
孤児院
出身の私に
とって

本は
かけがえのない
友達だ



結構
いい本

あるん
だけどな……



孤独だった
少年テトラが

冒険の末
暖かい家族に
迎えられる物語

いつか私にも
こんな日が
くると夢を
見ていたし

今でも
思っている



…ん？

少しでも本を
通じて仲良
なれたらいい
だけど…

この新天地で
その夢が叶うかもと
期待していたのに…

は…

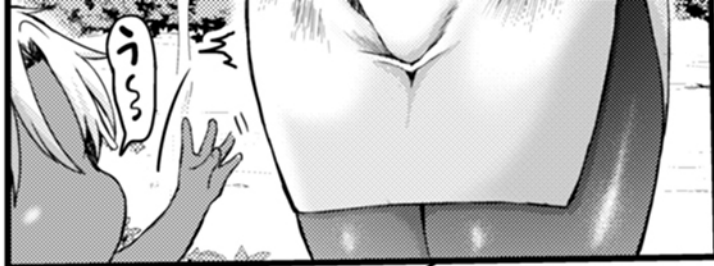
中々
上手くいかない
わね…

え…？

あれは…
何？







天使と悪魔は
相容れぬ存在
これって国に
報告したほうが
いいんじゃない







この続きは製品版でお楽しみください。

※ 本作品の全部あるいは一部を無断で複製・改ざん・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

株式会社キルタイムコミュニケーション
<https://ktcom.jp>